

# 「丹波市地球温暖化対策実行計画」 ∞平成30年度 進捗状況報告（平成29年度実績）∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3第10項に基づき、平成25年度に策定した「丹波市地球温暖化対策実行計画」（第二期実行計画）の進捗状況を報告、公表します。この計画では、実行計画の数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガスの排出抑制を行うことで、地球温暖化対策に取り組んでいくことを目的としています。

## ☆計画の概要☆

- ◎計画の基準年：平成24年度
- ◎実行計画期間：平成26年度～平成30年度（5年間）
- ◎調査対象施設：庁舎を含めた公共施設

【計画で対象となる温室効果ガス】4種類

- ・CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）、
- ・CH<sub>4</sub>（メタン）、
- ・N<sub>2</sub>O（一酸化二窒素）、
- ・HFC（ハイドロフルオロカーボン類）

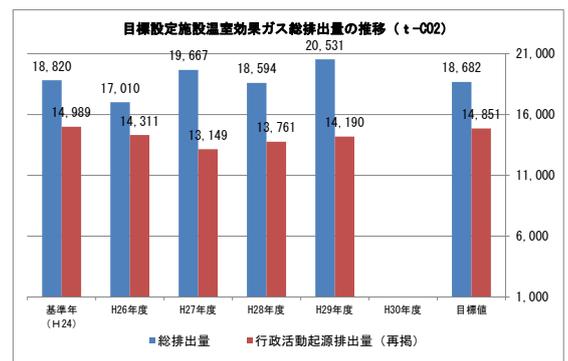
◎基準年の温室効果ガス総排出量 **18,820t-CO<sub>2</sub>**  
 ☆行政活動起源 **14,989t-CO<sub>2</sub>**  
 ☆廃プラスチック起源 **3,831t-CO<sub>2</sub>**

★削減目標★基準排出量（18,820t-CO<sub>2</sub>）に対し  
**0.7%（138t-CO<sub>2</sub>）削減**

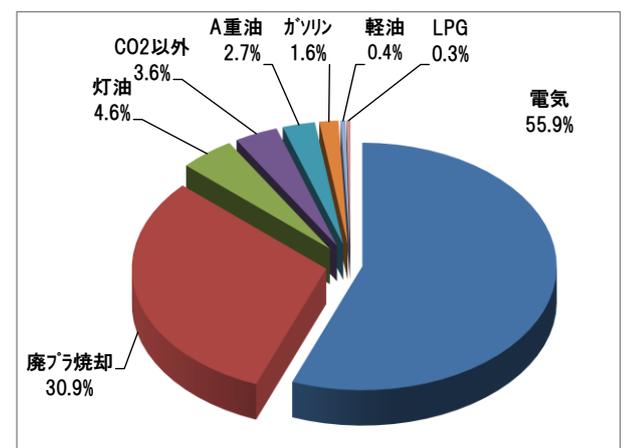
## ☆平成29年度温室効果ガス排出状況☆

◎平成29年度温室効果ガス総排出量 **20,531t-CO<sub>2</sub>**  
 ☆行政活動起源 **14,190t-CO<sub>2</sub>**  
 ☆廃プラスチック起源 **6,341t-CO<sub>2</sub>**

## ●温室効果ガス排出量の推移



## ●温室効果ガス排出源構成（H28実績）



### 平成29年度温室効果ガス総排出量

排出量は20,531t-CO<sub>2</sub>となり、基準年の排出量（18,820t-CO<sub>2</sub>）に対して1,711t-CO<sub>2</sub>（9.1%）増加しました。各項目で見ると、廃プラスチック以外の項目で排出量が減少しています。

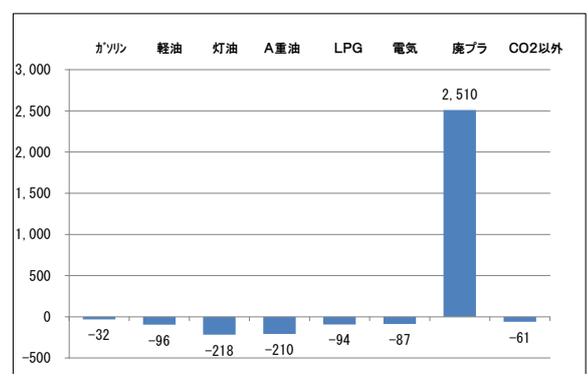
### ◎行政活動起源による排出量の減少の理由

各施設で空調の温度設定（冷房28℃、暖房20℃）や、クールビズ等エコスタイルの実施を引き続き実施しました。また設備更新（照明のLED化、省エネ効果の高い空調への更新）を順次すすめています。

※排出量の計算方法は基準年に準じる。

## ●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況（単位：t-CO<sub>2</sub>）

項目	H24年度		平成29年度		増減
	排出量	排出量	基準年対比		
燃料	ガソリン	357	325	-9.1%	-32
	軽油	184	88	-52.0%	-96
	灯油	1,162	944	-18.8%	-218
	A重油	765	555	-27.4%	-210
	LPG	161	67	-58.5%	-94
電気	11,557	11,470	-0.8%	-87	
廃プラスチック焼却	3,831	6,341	65.5%	2,510	
CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス	803	742	-7.7%	-61	
温室効果ガス全体	18,820	20,531	9.1%	1,711	



## 温室効果ガス削減に向けての今後の課題

行政活動による排出量は減少しており、引き続き、照明の消灯などのソフト面、空調機器の更新やLED照明の導入などのハード面の両方で排出量の削減に努めていきます。この点については、更新による高い省エネ効果が期待できるため、第3期実行計画の主要項目として盛り込んでいく予定です。一方、廃プラスチック起源の排出量は前年度に続き増加しており、これを課題と認識し、対策を検討していきます。